

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ-

Aコース (為替ヘッジあり) Bコース (為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第18期

(決算日 2021年5月28日)
(作成対象期間 2020年12月1日~2021年5月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当完成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期末 (2019年5月28日)	11,317	150	5.0	21,210	5.4	92.8	—	1,079
15期末 (2019年11月28日)	12,243	200	9.9	23,668	11.6	96.3	—	1,094
16期末 (2020年5月28日)	11,444	0	△ 6.5	22,787	△ 3.7	94.8	—	964
17期末 (2020年11月30日)	13,502	1,000	26.7	27,306	19.8	94.7	—	1,075
18期末 (2021年5月28日)	15,095	1,600	23.6	31,528	15.5	91.6	—	1,148

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

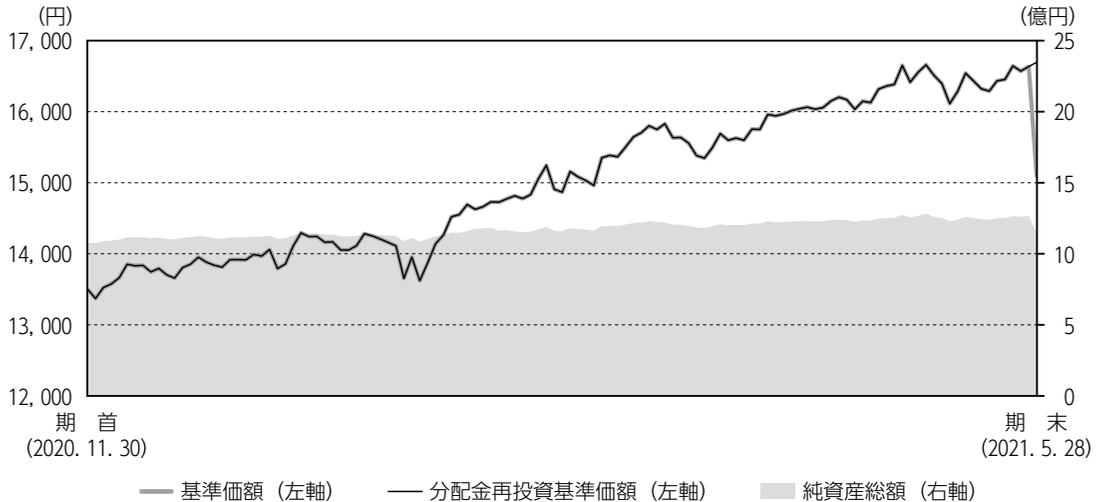
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,502円

期末：15,095円（分配金1,600円）

騰落率：23.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2020年11月30日	円	%		%	%	%
	13,502	—	27,306	—	94.7	—
12月末	13,968	3.5	27,972	2.4	97.1	—
2021年1月末	13,953	3.3	28,425	4.1	94.0	—
2月末	14,909	10.4	28,740	5.2	93.1	—
3月末	15,628	15.7	29,709	8.8	92.3	—
4月末	16,651	23.3	31,608	15.8	91.7	—
(期 末) 2021年5月28日	16,695	23.6	31,528	15.5	91.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28）

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴って軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

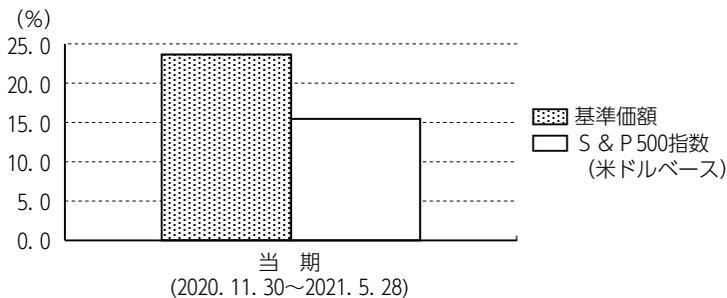
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当期	
	2020年12月1日 ～2021年5月28日	
当期分配金(税込み)	(円)	1,600
対基準価額比率	(%)	9.58
当期の収益	(円)	1,600
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,094

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	47.39円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	✓	3,092.30
(c) 収益調整金		1,130.32
(d) 分配準備積立金		2,424.94
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		6,694.97
(f) 分配金		1,600.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		5,094.97

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 12. 1~2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	140円	0. 933%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15, 046円です。
(投 信 会 社)	(80)	(0. 529)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0. 378)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 019	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 019)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	146	0. 968	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

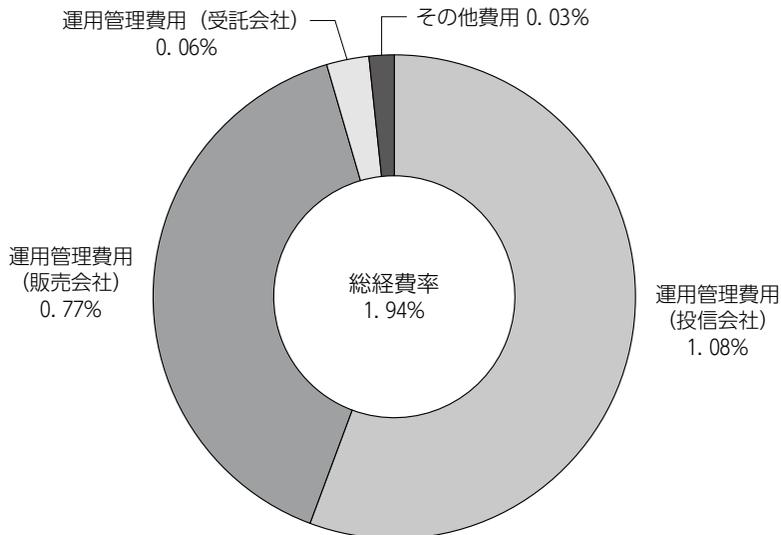
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	14,292	65,000	60,281	299,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

項 目	当 期	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	3,504,108千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,626,373千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.75	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	257,948	211,959	1,154,035

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	1,154,035	89.3
コール・ローン等、その他	137,732	10.7
投資信託財産総額	1,291,768	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.97円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,981,284千円)の投資信託財産総額(6,551,675千円)に対する比率は、91.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,396,789,631円
コール・ローン等	22,602,925
ダイワ米国厳選株マザーファンド(評価額)	1,154,035,651
未収入金	1,220,151,055
(B) 負債	1,248,600,799
未払金	1,115,870,700
未払収益分配金	121,702,873
未払解約金	497
未払信託報酬	10,995,044
その他未払費用	31,685
(C) 純資産総額(A-B)	1,148,188,832
元本	760,642,962
次期繰越損益金	387,545,870
(D) 受益権総口数	760,642,962口
1万口当り基準価額(C/D)	15,095円

* 期首における元本額は796,667,708円、当作成期間中における追加設定元本額は34,909,479円、同解約元本額は70,934,225円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,095円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月1日 至2021年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,206円
受取利息	148
支払利息	△ 2,354
(B) 有価証券売買損益	249,848,229
売買益	342,121,096
売買損	△ 92,272,867
(C) 信託報酬等	△ 11,026,771
(D) 当期損益金(A+B+C)	238,819,252
(E) 前期繰越損益金	184,451,755
(F) 追加信託差損益金	85,977,736
(配当等相当額)	(65,479,573)
(売買損益相当額)	(20,498,163)
(G) 合計(D+E+F)	509,248,743
(H) 収益分配金	△ 121,702,873
次期繰越損益金(G+H)	387,545,870
追加信託差損益金	85,977,736
(配当等相当額)	(65,479,573)
(売買損益相当額)	(20,498,163)
分配準備積立金	301,568,134

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:3,331,743円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,604,929円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	235,214,323
(c) 収益調整金	85,977,736
(d) 分配準備積立金	184,451,755
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	509,248,743
(f) 分配金	121,702,873
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	387,545,870
(h) 受益権総口数	760,642,962口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	1,600円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Bコース (為替ヘッジなし)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期末 (2019年 5 月28日)	11,813	100	2.9	29,229	1.5	92.8	—	3,037
15期末 (2019年11月28日)	12,912	200	11.0	32,563	11.4	95.2	—	2,707
16期末 (2020年 5 月28日)	11,828	0	△ 8.4	30,929	△ 5.0	94.9	—	2,373
17期末 (2020年11月30日)	13,753	650	21.8	35,679	15.4	95.9	—	2,654
18期末 (2021年 5 月28日)	16,305	1,700	30.9	43,607	22.2	90.5	—	3,168

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

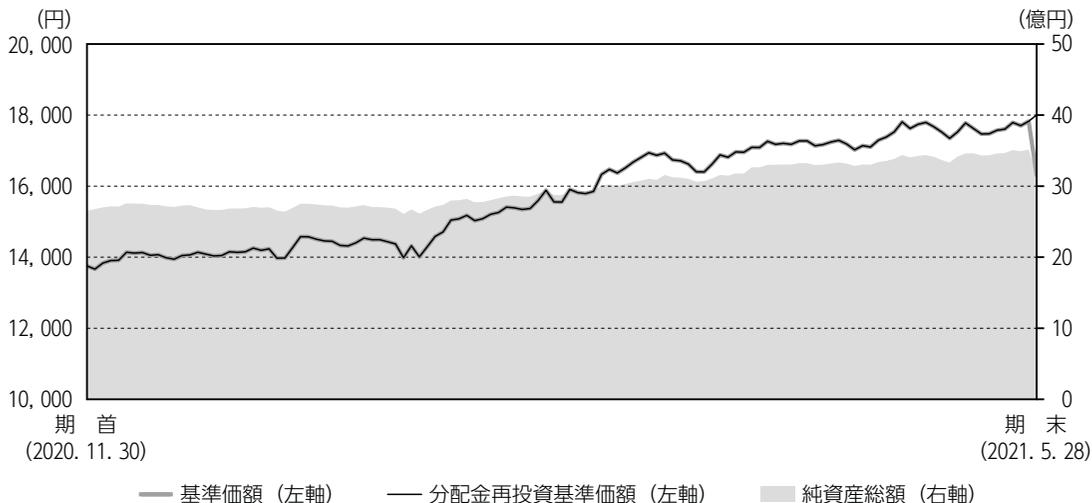
(注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：13,753円

期末：16,305円（分配金1,700円）

騰落率：30.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことや為替が円安米ドル高に推移したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2020年11月30日	円	%		%	%	%
	13,753	—	35,679	—	95.9	—
12月末	14,194	3.2	36,412	2.1	97.0	—
2021年1月末	14,320	4.1	37,352	4.7	93.4	—
2月末	15,556	13.1	38,405	7.6	93.4	—
3月末	16,965	23.4	41,368	15.9	90.6	—
4月末	17,808	29.5	43,303	21.4	90.8	—
(期末) 2021年5月28日	18,005	30.9	43,607	22.2	90.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国での大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴って軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2020年12月末にかけて、米中関係の動向や追加経済対策をめぐる不透明感などが米ドル安要因となり、円高米ドル安基調で推移しました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府および連邦議会上下両院を制したことや新型コロナウイルスワクチンの実用化などから、市場のリスク選好姿勢が強まり、円安米ドル高となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2020. 12. 1 ~ 2021. 5. 28)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

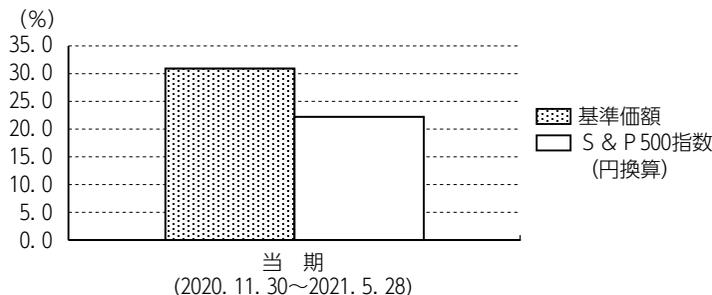
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2020年12月1日 ～2021年5月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	1,700
対基準価額比率	（%）	9.44
当期の収益	（円）	1,700
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	6,304

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	48.08円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	3,863.82
(c) 収益調整金		1,964.61
(d) 分配準備積立金		2,128.25
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		8,004.78
(f) 分配金		1,700.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		6,304.78

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 12. 1~2021. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	147円	0. 933%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15, 774円です。
(投 信 会 社)	(83)	(0. 529)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(60)	(0. 378)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 020	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 020)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	153	0. 969	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

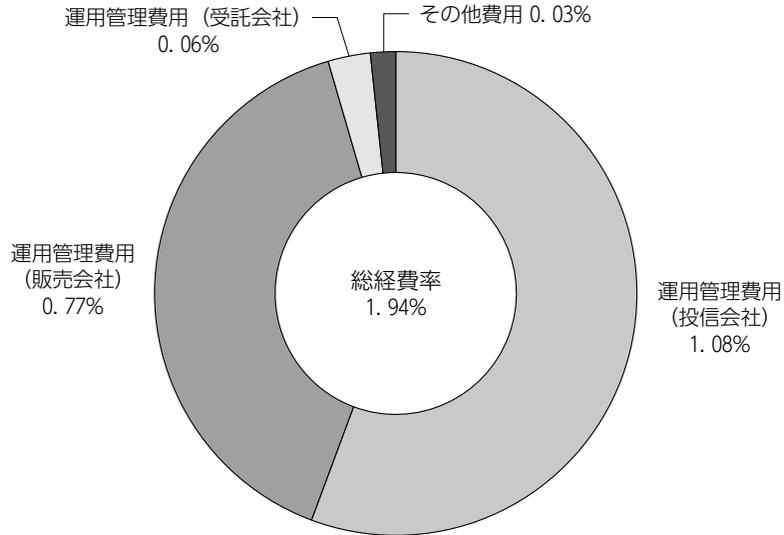
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	48,202	242,000	115,093	571,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,504,108千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,626,373千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.75

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	645,111	578,219	3,148,175

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	3,148,175	87.8
コール・ローン等、その他	436,881	12.2
投資信託財産総額	3,585,057	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.97円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(5,981,284千円)の投資信託財産総額(6,551,675千円)に対する比率は、91.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年5月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,585,057,150円
コール・ローン等	62,881,987
ダイワ米国厳選株 マザーファンド (評価額)	3,148,175,163
未収入金	374,000,000
(B) 負債	416,639,652
未払収益分配金	330,351,503
未払解約金	58,264,058
未払信託報酬	27,943,421
その他未払費用	80,670
(C) 純資産総額 (A - B)	3,168,417,498
元本	1,943,244,136
次期繰越損益金	1,225,173,362
(D) 受益権総口数	1,943,244,136口
1万口当り基準価額 (C / D)	16,305円

* 期首における元本額は1,930,452,496円、当作成期間中における追加設定元本額は274,503,579円、同解約元本額は261,711,939円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,305円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月1日 至2021年5月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,082円
受取利息	297
支払利息	△ 3,379
(B) 有価証券売買損益	788,207,685
売買益	827,935,324
売買損	△ 39,727,639
(C) 信託報酬等	△ 28,024,201
(D) 当期損益金 (A + B + C)	760,180,402
(E) 前期繰越損益金	413,571,701
(F) 追加信託差損益金	381,772,762
(配当等相当額)	(291,317,211)
(売買損益相当額)	(90,455,551)
(G) 合計 (D + E + F)	1,555,524,865
(H) 収益分配金	△ 330,351,503
次期繰越損益金 (G + H)	1,225,173,362
追加信託差損益金	381,772,762
(配当等相当額)	(291,317,211)
(売買損益相当額)	(90,455,551)
分配準備積立金	843,400,600

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示してあります。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 8,472,792円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,343,950円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	750,836,452
(c) 収益調整金	381,772,762
(d) 分配準備積立金	413,571,701
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,555,524,865
(f) 分配金	330,351,503
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,225,173,362
(h) 受益権総口数	1,943,244,136口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	1,700円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2021年5月28日)

(作成対象期間 2020年12月1日～2021年5月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

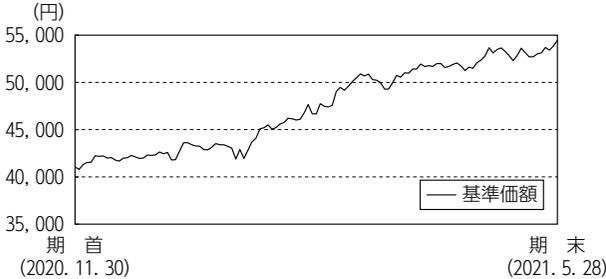
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入比率 (%)	株式先物比率 (%)
	円	%	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2020年11月30日	41,055	—	35,679	—	96.2	—
12月末	42,452	3.4	36,412	2.1	97.4	—
2021年1月末	42,893	4.5	37,352	4.7	93.7	—
2月末	46,683	13.7	38,405	7.6	93.5	—
3月末	51,020	24.3	41,368	15.9	91.5	—
4月末	53,666	30.7	43,303	21.4	91.6	—
(期末) 2021年5月28日	54,446	32.6	43,607	22.2	91.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他の一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：41,055円 期末：54,446円 騰落率：32.6%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が上昇したことや為替が円安米ドル高に推移したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より上昇基調で推移しました。米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前の予想通りに当選確実となり、選挙の結果に対する不確実性が後退したことや、米国で

の大規模経済対策などの政策期待が上昇要因となりました。2021年2月下旬から3月上旬にかけて金利上昇に伴って軟調な展開となる場面も散見されたものの、経済活動の正常化期待から持ち直し、その後は堅調に推移しました。

○ 為替相場

米ドルは対円では上昇 (円安) しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2020年12月末にかけて、米中関係の動向や追加経済対策をめぐる不透明感などが米ドル安要因となり、円高米ドル安基調で推移しました。2021年に入ると、米国において民主党が大統領府および連邦議会上下両院を制したことや新型コロナウイルスワクチンの実用化などから、市場のリスク選好姿勢が強まり、円安米ドル高となりました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)、CBRE GROUP (不動産)などを高位で組み入れました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	10円 (10)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)
合 計	17

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
アメリカ	2,897.55 ()	百株 千アメリカ・ドル 17,036 ()	1,832.09	百株 千アメリカ・ドル 15,246	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2020年12月1日から2021年5月28日まで)

買 付	当 期			平均単価	売 付	当 期		
	株 数	金 額	平均単価			株 数	金 額	平均単価
FISERV INC (アメリカ)	27.965	332,718	11,897	ENVISTA HOLDINGS CORP (アメリカ)	50.06	238,250	4,759	
GOHEALTH INC-CLASS A (アメリカ)	127.82	166,296	1,301	AGILENT TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	14.035	185,253	13,199	
CHARTER COMMUNICATIONS INCA (アメリカ)	1.735	117,043	67,460	CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	17.54	143,807	8,198	
ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	0.47	108,972	231,857	MOODY'S CORP (アメリカ)	3.009	101,675	33,790	
KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	28.275	100,603	3,558	HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	4.485	92,101	20,535	
NETFLIX INC (アメリカ)	1.745	97,579	55,919	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	7.235	90,990	12,576	
FACEBOOK INC-CLASS A (アメリカ)	2.595	78,368	30,199	POST HOLDINGS INC (アメリカ)	7.165	85,376	11,915	
POST HOLDINGS INC (アメリカ)	6.725	73,468	10,924	ALPHABET INC-CL C (アメリカ)	0.35	79,610	227,458	
CDK GLOBAL INC (アメリカ)	12.95	71,117	5,491	WORKDAY INC-CLASS A (アメリカ)	2.81	77,212	27,477	
HCA HEALTHCARE INC (アメリカ)	3.03	61,231	20,208	BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.3	76,621	255,405	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
MOODY'S CORP	23.94	—	—	—	金融
CITIGROUP INC	192.3	213.35	1,680	184,787	金融
AUTOMATIC DATA PROCESSING	99.8	110.6	2,181	239,896	情報技術
CDK GLOBAL INC	280.7	361.55	1,887	207,585	情報技術
POST HOLDINGS INC	159.6	155.2	1,771	194,840	生活必需品
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	162.95	120.1	1,516	166,769	観光・サービス

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
HCA HEALTHCARE INC	125.48	110.93	2,370	260,679	ヘルスケア
AGILENT TECHNOLOGIES INC	140.35	—	—	—	ヘルスケア
FISERV INC	—	263.8	3,050	335,501	情報技術
ALPHABET INC-CL C	19.65	20.85	5,009	550,865	コミュニケーション・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	58.15	74.75	2,487	273,529	コミュニケーション・サービス
MANPOWERGROUP INC	150.25	166.65	2,055	226,020	資本財・サービス
WORKDAY INC-CLASS A	67	50.65	1,161	127,747	情報技術

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
LIVANOVA PLC	181.3	201.2	1,679	184,707	ヘルスケア	
BOOKING HOLDINGS INC	9.34	8.64	2,017	221,836	一般消費サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	408.9	—	—	—	ヘルスケア	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	25.85	38.25	2,648	291,268	メディア・エンタテインメント	
CBRE GROUP INC - A	355.8	244.45	2,141	235,460	不動産	
GOHEALTH INC-CLASS A	—	1,197.55	1,380	151,843	金融	
NETFLIX INC	15.65	29.85	1,504	165,397	メディア・エンタテインメント	
BANK OF AMERICA CORP	550.7	455.8	1,939	213,279	金融	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	401.65	444.9	2,345	257,887	金融	
NOV INC	216.7	228.05	370	40,727	エネルギー	
KEURIG DR PEPPER INC	804.05	977.95	3,584	394,153	生活必需品	
SCHWAB (CHARLES) CORP	279	288.45	2,130	234,258	金融	
LEAR CORP	100.85	111.6	2,148	236,285	一般消費サービス	
COMCAST CORP-CLASS A	181.75	202.05	1,158	127,406	メディア・エンタテインメント	
ファンド	株数、金額	5,011.71	6,077.17	50,220	5,522,736	
合計	銘柄数<比率>	25銘柄	24銘柄		<91.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	5,522,736	84.3
コール・ローン等、その他	1,028,938	15.7
投資信託財産総額	6,551,675	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.97円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,981,284千円)の投資信託財産総額(6,551,675千円)に対する比率は、91.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年5月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	6,551,675,314円
コール・ローン等	1,027,238,880
株式(評価額)	5,522,736,573
未取配当金	1,699,861
(B) 負債	489,000,000
未払解約金	489,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	6,062,675,314
元本	1,113,513,513
次期繰越損益金	4,949,161,801
(D) 受益権総口数	1,113,513,513口
1万口当り基準価額(C/D)	54,446円

* 期首における元本額は1,001,346,484円、当作成期間中における追加設定元本額は374,591,296円、同解約元本額は262,424,267円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイー Aコース(為替ヘッジあり) 211,959,676円、ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイー Bコース(為替ヘッジなし) 578,219,734円、ダイワ米国厳選バリュース株ファンド(ダイワSMA専用) 323,334,103円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は54,446円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月1日 至2021年5月28日

項目	当期
(A) 配当等収益	16,652,250円
受取配当金	16,663,759
受取利息	281
支払利息	△ 11,790
(B) 有価証券売買損益	1,371,671,195
売買益	1,379,166,891
売買損	△ 7,495,696
(C) その他費用	△ 648,231
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,387,675,214
(E) 前期繰越損益金	3,109,653,616
(F) 解約差損益金	△ 1,013,575,733
(G) 追加信託差損益金	1,465,408,704
(H) 合計(D+E+F+G)	4,949,161,801
次期繰越損益金(H)	4,949,161,801

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。